

緊急告知

日本サウンドスケープ協会 2016年度シンポジウム

東京水系の サウンドスケープ

ー都市と社会のリ・デザイナーー

サウンドスケープという用語を日本に広めたシェファアの主著『世界の調律』の邦訳出版から今年で30年。その考え方は基本的に「脱西洋近代」であり、アジアや日本の文化にも深い親和性をもっています。以上を踏まえ、東京の水系や水辺のサウンドスケープをテーマに展開されているさまざまな活動事例を紹介しつつ、都市をめぐる研究や計画の今後のあり方の本質にも繋がりを確認し、そのコンセプトが、これからの社会にいかに関与するかを、建築・都市環境の専門家と共に考えます。

2016年5月29日(日)

14:00-17:00 (13:30受付開始)

青山学院アスタジオ・地下ホール | 参加費:無料

最新情報はウェブで soundscape-j.org

イントロダクション▷「名橋たちの音を聴く」

鷲野宏 (アートディレクター/都市楽師プロジェクト主宰)

基調講演▷「『世界の調律』再考:武蔵野三大湧水池から」

鳥越けい子 (サウンドスケープ研究/青山学院大学総合文化政策学部教授)

話題提供▷「東京水系の歴史と場所性」

神谷博 (水みちデザイナー/法政大学兼任講師)

▷「東京の水辺街づくりー現在とこれからー」

高見公雄 (都市デザイン研究/法政大学デザイン工学部教授)

司 会▷吉仲淳 (作曲家/青山学院大学教育人間科学部准教授)

主催:日本サウンドスケープ協会

共催:青山学院大学 総合文化政策学部鳥越研究室・教育人間科学部吉仲研究室